



今月の内容

- ① 新任职員紹介／皆様 よろしくお願いたします 由山諭司・岡本菜花
- ② 新任医師挨拶／副院長就任のご挨拶 堀内淳
- ③ 診療科紹介／産婦人科～ 田中寛希
- ④ 第150回医療連携懇話会
『前立腺がんに対する放射性リガンド治療という選択』を終えて 井上武
- ⑤ 院長コラム 中西徳彦
- ⑥ お知らせ (次回の医療連携懇話会のお知らせ・媛さくらネットについて・メール登録のご案内)

地域医療連携室

① 新任职員紹介 皆様 よろしくお願いたします。 MSW 由山 諭司 / 岡本 菜花

前職は高齢者介護事業所で働いておりました。医療機関で働くのは今回が初めてになりますので、見るもの全てが真新しく、新鮮な気持ちで日々を送ることができています。前職での経験を生かしつつ、先輩方からの指導をしっかりと自分のものにしていき、患者さんやご家族の困りごとに寄り添えるように精進していきます。

至らぬ点多いかと思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。(由山)

4月より入職いたしました、岡本菜花と申します。松山で生まれ育ち、大学時代は京都で過ごしました。地元松山にて医療福祉に携わることができ、大変嬉しく思っております。現在は先輩方から指導を受けながら、業務同行や電話対応などを学んでおります。

至らない点も多く、日々緊張の連続ですが、一つひとつの経験を大切にして成長していきたいです。常に患者さんやご家族の思いに寄り添う姿勢を心掛け、安心していただける支援ができるよう努めてまいります。ご迷惑をおかけすることもあるかと存じますが、何卒よろしくお願い申し上げます。

(岡本)



② 新任医師挨拶 副院長就任のご挨拶

副院長 堀内 淳



本年4月に副院長を拝命いたしました堀内淳です。

平素より当院の運営にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。愛媛県立中央病院での勤務は今回が初めてとなりますので、一言ご挨拶申し上げます。

私は松山市の出身で、1988年に愛媛大学医学部を卒業後、当時の第二外科に入局いたしました。当時は現在のような専門分化が進んでおらず、消化器外科に加えて心臓外科、呼吸器外科、小児外科、乳腺外科など幅広い領域の手術を経験する機会に恵まれました。大学病院での研修の後、新居浜の循環器科林病院での勤務を経て、愛媛大学大学院に進学し、腫瘍免疫の研究により学位を取得いたしました。その後は大洲の喜多医師会病院で主に消化器外科診療に従事し、1996年からは愛媛大学病院において呼吸器外科、小児外科にも携わりました。さらに1999年からは兵庫県立こども病院に勤務し、小児外科領域の診療に従事いたしました。2001年に再び愛媛大学病院に戻って以降の10年間は、消化器外科および小児外科の診療に従事するとともに、大学病院の独立行政法人化、新たな臨床研修制度の開始、外科教室の臓器別再編といった大きな制度変革を経験してまいりました。これらの経験を通じて、医療を取り巻く環境の変化に柔軟に対応しつつ、組織として持続的に質の高い医療を提供することの重要性を学びました。

2011年4月からは愛媛県立新居浜病院に赴任し、本年3月までの15年間、主に消化器外科診療に携わるとともに、2022年4月からは病院長として病院運営にも関わってまいりました。地域医療における中核病院の役割や、医療機関相互の連携の重要性について、実践的に学ぶ貴重な機会となりました。

今回の赴任にあたり、特に重要と考えておりますのは、院内の医師をはじめとする医療従事者が力を発揮しやすい環境を整え、次世代を担う若い医師たちの意欲と成長を支えていくことです。とりわけ消化器外科の分野においては、全国的に担い手の減少が続いており、地域医療を支える上で大きな課題となっています。このような状況の中で、若い医師が外科を志し、継続して研鑽を積むことのできる環境を整備することは、将来の地域医療を守る上で極めて重要であると考えております。働きやすさとやりがいと両立する環境づくりを通じて人材の育成につなげ、それを医療の質の向上として地域に還元する好循環を生み出してまいりたいと存じます。

当院は、愛媛県の基幹病院として高度急性期医療を担い、救急医療、がん診療、周産期医療、災害医療などの分野において、地域医療の最後の砦としての役割を果たしております。

一方で、医療の高度化・専門化が進む中、単一の医療機関のみで完結する医療には限界があり、地域全体で患者さんを支える体制の重要性が一層高まっております。

そのような中で、当院の果たすべき役割は、必要とされる高度医療を確実に提供するとともに、地域の先生方との緊密な連携のもと、患者さんにとって最適な医療の流れを構築することにあると考えております。急性期においては迅速かつ的確に患者さんを受け入れ、専門的治療を提供し、その後は適切な時期に地域へお戻しするという、切れ目のない医療連携の実現に努めてまいります。

今後とも、地域の医療機関の先生方との連携を大切にしながら、地域全体で患者さんを支える医療の実現に努めてまいります。引き続きご指導、ご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

② 診療科紹介 産婦人科

産婦人科 主任部長 田中 寛希

産婦人科は女性特有の病気全般を扱う診療科で主要な4分野として周産期、婦人科腫瘍、生殖医療、女性ヘルスケアがあります。分娩だけでなく、思春期・性成熟期・更年期・老年期と一生を通して女性に寄り添う診療科です。

産科領域では愛媛県唯一の総合周産期母子医療センターとして切迫流早産、妊娠高血圧症候群、前置胎盤、合併症妊娠などのハイリスク妊娠分娩の対応を行い、また高度救命救急センターを有する3次救急病院として母体救命対応の周産期母子医療センターとして愛媛県の周産期医療を担っています。近年、分娩数は減少しておりますが、2025年は1年間で746件の分娩があり、多胎妊娠は46件(双胎44件、品胎2件)でした。帝王切開術は379件(選択的帝王切開術170件、緊急帝王切開術209件)でした。また、ハイリスク妊娠の増加に伴い母体搬送数は増加しており、2025年は1年間で194件の母体搬送がありました。超緊急帝王切開においても、新生児内科・麻酔科などとの緊密な連携のもと、15分以内に児を娩出できる体制を整えています。分娩時には必要に応じ新生児内科医の立ち合いが得られるため、出生直後より新生児の専門的ケアが可能です。また、当院は2008年より「赤ちゃんにやさしい病院」Baby Friendly Hospital(BFH)として認定を受けています。BFHとは、WHO(世界保健機関)、UNICEF(国際連合児童基金)が提唱している「母乳育児を成功させるための10カ条」を長期にわたって遵守し、実践する産科施設のことです。

婦人科領域では子宮腫瘍、卵巣腫瘍、子宮脱および悪性腫瘍を中心に多くの手術を行っております。総合病院であることを活かし必要に応じて、消化器外科、泌尿器科と連携し手術することもあります。2025年に婦人科手術は312件行っており、その内、低侵襲手術である腹腔鏡下手術は195件でした。子宮良性腫瘍に対するロボット支援下手術も18件行っています。近年に保険収載された腹腔鏡下子宮瘢痕部修復術や、腹腔鏡下腔断端挙上術も積極的に行っており、治療の選択肢を増やしています。卵巣腫瘍莖捻転や異所性妊娠などの婦人科救急疾患にも対応しています。

最後に、当科は産婦人科専門医をはじめ、周産期専門医(母体・胎児)、女性ヘルスケア専門医、腹腔鏡技術認定医が在籍し、それらの指導・修練施設でもあります。365日急患に対応できる体制を敷いており、他科と連携し、愛媛県の周産期・婦人科医療に尽力したいと存じます。今後ともご指導、ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

③ 第150回 医療連携懇話会 『前立腺がんに対する放射性リガンド治療という選択』を終えて

画像センター長 井上 武

令和8年5月13日に第150回医療連携懇話会は泌尿器科と放射線科が担当しました。テーマは『前立腺がんに対する放射性リガンド治療という選択』で、近年増加傾向でかつ男性の部位別がん罹患数第1位である前立腺がん、特に進行し転移性去勢抵抗性前立腺がん（mCRPC）となったステージでの新たな治療法を詳しく、わかりやすく3人の医師に解説していただきました。

①『前立腺がんの自然史』泌尿器科 主任部長 二宮 郁 先生

二宮主任部長からは前立腺がんの疫学・検診・診断・病期分類から局所治療のアルゴリズムおよび全身治療のアルゴリズムをADT（アンドロゲン遮断療法）、ARSI（新規アンドロゲン受容体シグナル阻害薬）、タキサン系抗がん剤の組み合わせ、臨床試験の結果も提示しながら解説していただきました。そして去勢抵抗性前立腺がんとなった場合のアンメットニーズ（いまだに有効な治療法が見つからない疾患に対する医療上の必要性）に対する放射性リガンド治療への期待を語ってくださいました。

②『放射性リガンド治療の有効性』泌尿器科 部長 柳原 豊 先生

柳原部長からは、放射線の基礎から前立腺特異的膜抗原（Prostate-Specific Membrane Antigen）とは？前立腺特異的膜抗原をターゲットとする放射性リガンド治療（プルヴィクト®）の原理、臨床試験での有効性、ならびに愛媛県内での診断・治療施設について詳しく説明していただきました。

③『放射性リガンド治療の実際』放射線科 部長 平塚 義康 先生

平塚部長からは当院で行っている放射性リガンド治療の実際の運用点について、こういった患者がこの治療の適応になるのか、治療決定から入院治療までの流れ、入院スケジュール、入院生活、退院後の注意点などを多くの図表を提示して説明していただきました。

愛媛県では当院と四国がんセンター、愛媛大学医学部附属病院の3施設がタッグを組んで、全国でもいち早くこの治療を導入することができました。今までは有効な治療法がなかった進行した前立腺癌に対する新たな治療法として期待されています。本治療に適応のある患者に一人でも多くこの治療を受けていただき、病状の改善に繋がりますよう、地域の先生方からのご紹介、ご協力をよろしくお願い申し上げます。本治療に適応する患者のお問い合わせ、ご紹介に関しては当院泌尿器科までご連絡ください。実際のプルヴィクト治療に関するご質問などは放射線科にて承ります。

「院長コラム①」

④ 人口減少報道をみて

院長 中西 徳彦

この原稿の締め切りの2日前、4月29日（昭和の日）の愛媛新聞1面に、「県内人口減 過去最大」と出ていました。2025年の国勢調査で県内人口は126万88人で、前回2020年に比べ7万4753人減少（減少率5.6%）とのこと。ただ、過去の推移をみると、1955年に154万人でピークを迎えてその後いったん減少（人口流出の増加）、回復基調となり1985年に153万人まで戻した後、持続的な減少傾向となっています。しかし、今回の調査のポイントは世帯数が初めて減少したことにあるようで、様々な消費活動に影響が出てくるということのようです。

いずれにしても、人口減に伴い働き手が減少している時代です。若い人材をしっかり育てていかなければなりません。



⑤ 次回の医療連携懇話会のお知らせ

医療連携懇話会について [Click!](#)

<リンク先> 愛媛県立中央病院ホームページ

第151回 医療連携懇話会

- 日時** 令和8年7月15日(水) ・講演 19:00~20:30 ・意見交換会 20:30~21:30
- 場所** ANAクラウンプラザホテル松山 ダイヤモンドボールルーム (松山市一番町3-2-1 本館4階)
- テーマ** 県立中央病院をまるごと ご紹介します
- 講演** 『診療科のご紹介』
- 司会** 愛媛県立中央病院 地域医療連携室長 二宮 朋之
- 演者** 愛媛県立中央病院 各診療科主任部長



お申し込み方法等 申込書をFAXでお送りください（詳細は後日ご案内いたします）
 ■ 意見交換会は立食形式で行います。万障お繰り合わせの上、ぜひご参加ください。

第152回 医療連携懇話会

- 日時** 令和8年8月19日(水)
講演 19:00~20:10 予定
- 場所** 愛媛県立中央病院 講堂
- テーマ** がん治療センター症例検討会（仮）
- 座長** 愛媛県立中央病院 がん治療センター長 名和 由一郎



地域医療連携 ネットワークサービス

媛さくらネット

Information

アレルギー情報へのアクセスが簡単になりました!

<2025年現在閲覧できる項目>

- ・処方・注射・検体検査・病名・退院サマリ・画像（放射線、エコー、生理検査）
- ・循環器動画・放射線画像診断レポート（退院時サマリは2023年4月1日以降の情報となります）

こんな
メリットが

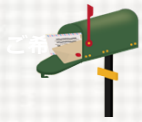
お申込・詳細はコチラから [Click!](#)

<リンク先> 愛媛県立中央病院ホームページ

- ・地域で一貫した医療をご提供
- ・検査や投薬の重複をさげ、医療費負担削減

参加
無料

次号の地域連携室便り 次回臨時号は、2026年8月下旬頃刊行の予定です。お楽しみに!



メール登録のご案内



各種ご案内やお知らせ（医療連携懇話会案内・地域連携室便りなど）はメール配信を推奨させていただいております。他、県立中央病院ホームページのタイムリーな更新情報も順次配信予定です。メールでの配信を希望される医療機関様につきましては、お手数ですが、下記メールアドレスへ医療機関名を記載し、送信をお願いいたします。
動画視聴のみを希望される医療機関関係者の皆様のご登録も受け付けております！

メールの
ご登録で…

- ・ 医療連携懇話会の限定公開動画がご覧いただけます
 - ・ 医療連携懇話会のご案内
 - ・ 地域連携室便りの更新のご案内
- などが届きます！



ご意見・ご要望も
お寄せください



動画配信の
3つのポイント！



①
好きな
場所で



②
好きな
時間に



③
繰り返し
再生！



◆お申し込み方法①

- ・ 下記の地域医療連携室のメールアドレスへ、以下を記載し送信してください。
＜件名＞ メール登録（医療機関名）
＜本文＞ 医療機関住所、電話番号
＜動画視聴のみのご希望の場合＞ 「動画のみ」と記載をお願いします

E-Mail : c-renkei@eph.pref.ehime.jp

◆お申し込み方法②

- ・ 本用紙でのお申し込み

キリトリ ✂

- ・ 愛媛県立中央病院 地域医療連携室に下記の登録をいたします。

＜医療機関名＞ _____

＜医療機関住所＞ _____

＜電話番号＞ _____

＜動画視聴のみのご希望の場合＞ 動画のみ希望（チェックをお願いします）

＜メールアドレス＞ _____ @ _____

- 今回医療連携懇話会に申し込んだメールアドレスを登録します（チェックをお願いします）

ご記入いただきました個人情報、必要なセキュリティ対策を講じ、厳重に管理、メール送信の目的にのみ利用させていただきます。